

事業者排出量削減報告書

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	京都市伏見区下鳥羽東芹川町54番地								
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	京阪タクシー株式会社 取締役社長 永井 博								
事業者の主たる業種	道路旅客運送業								
該当する事業者要件	<input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））								
計画期間	平成20年 4 月 ～ 平成23年 3 月								
基本方針	京阪グループは、「地球環境の保全是人類共通の重要課題の一つである」との認識のもと、環境の保全や資源の保護に配慮し、自然環境にやさしい企業運営を目指すことで、持続的に発展できる社会の実現に貢献します。								
推進体制	社長をトップとした体制により、環境問題に対する意識の向上と徹底を図り、排出量削減に向けた取組を推進する。								
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	環境マネジメントシステム名称	京阪タクシー環境マネジメント							
	適用範囲	当社、出入り業者							
	取得年月日	2005年7月1日							
温室効果ガスの排出量等	年度	設備、対象、工程等	措置内容						
	平成20年度	本社、営業所	空調、照明の適正管理、車両購入時のアイドリングストップ車の導入、およびエコドライブの実施						
	平成21年度	本社、営業所	同上						
	平成22年度	本社、営業所	同上						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）		
	事業所	二酸化炭素換算（延床面積）	0.080 t-CO ₂ /m ²	0.073 t-CO ₂ /m ²	-8.8 %	0.065 t-CO ₂ /m ²	-19.4 %		
		二酸化炭素換算（走行キロ）	0.333 kg-CO ₂ /km	0.321 kg-CO ₂ /km	-3.6 %	0.339 kg-CO ₂ /km	1.9 %		
	輸送車両	二酸化炭素換算							
	実績に対する自己評価		事業所実績の削減については、空調機の温度管理の向上によるものであるが、輸送車両における増加は車両の代替を行わず燃費の悪化によると推測されるが、次年度は、エコドライブの強化により目標のクリアを目指す。						
	その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度（計画）			報告年度（実績）			
		取組量等	（二酸化炭素換算）		取組量等	（二酸化炭素換算）			
森林の保全及び整備		（整備面積）	ha	（吸収量）	t	（整備面積）	ha	（吸収量）	t
府内産の木材の利用		（利用量）	m ³	（削減量）	t	（利用量）	m ³	（削減量）	t
自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給		（発電量）	kwh	（削減量）	t	（発電量）	kwh	（削減量）	t
		（熱供給量）	GJ	（削減量）	t	（熱供給量）	GJ	（削減量）	t
グリーン電力の購入		（購入量）	kwh	（削減量）	t	（購入量）	kwh	（削減量）	t
家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入		（購入量）	t	（削減量）	t	（購入量）	t	（削減量）	t
削減量等合計				*3	t	*5		t	
差引排出量（排出合計-削減等合計）		基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）			
	*1 2,914.0 t	(02)-(03) 2,809.0 t	-3.6 %	(04)-(05) 2,262.3 t	-22.4 %				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	地球温暖化対策等の案内掲示物を、輸送車両の後部ウィンドウ等に掲示を行い啓発する。								
特記事項									

注 1 該当する□には、△印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方には△印の記入は不要です。

2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。

3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。

4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、○〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分子となる指標（生糸数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。

5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度（計画）」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度（実績）」欄には実績の累計を記入してください。

6 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の実用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。